

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

当組合は、地域に無くてはならない「JA」であり続けるために、経営理念である「農家の庭先が「JAの窓口」のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、「親しまれ、信頼され、地域と共に歩む「JA」の実現に向け、具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）が、共同で事業運営しております。

南さつま農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものをJAバンクセレクトファンドとして選定しています。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。
- なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1	4
株式型	3	5
REIT型	1	2
バランス型	7	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

⇒コア・サテライト戦略について

保有する資産を守りの「コア(中核)資産」と
攻めの「サテライト(衛星)資産」に分けて運用する方法

<イメージ図>



※商品選定の考え方：JAバンクHP

<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/>

I.取組状況

1 お客さまへの最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3)、補充原則1～5本文および(注)】

- ・当組合は、様々なリスクに対する安心の備えや、ニーズにお応えできるよう「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じて、常に組合員・利用者の信頼と期待に応えるため、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- ・投資性金融商品の組成および市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済）の提供は実施しておりません。

I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供①

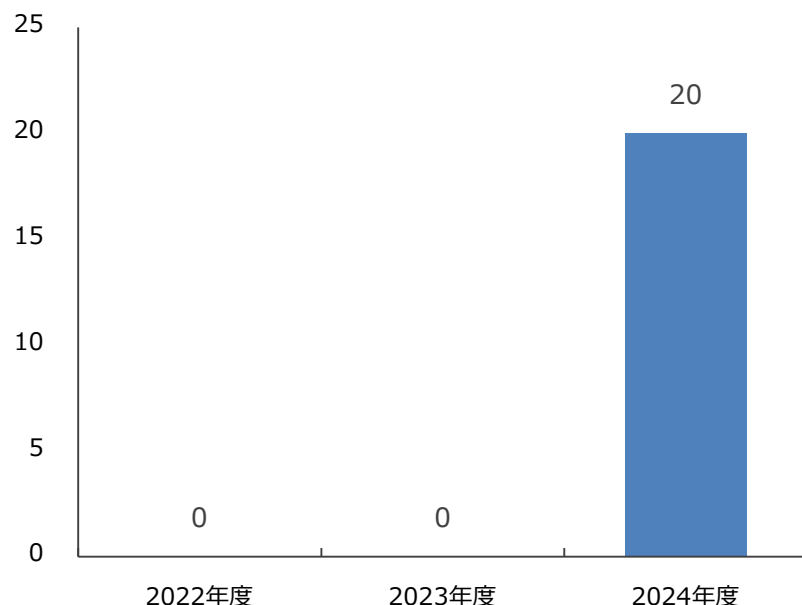
【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1～7)】

(1) 信用の事業活動

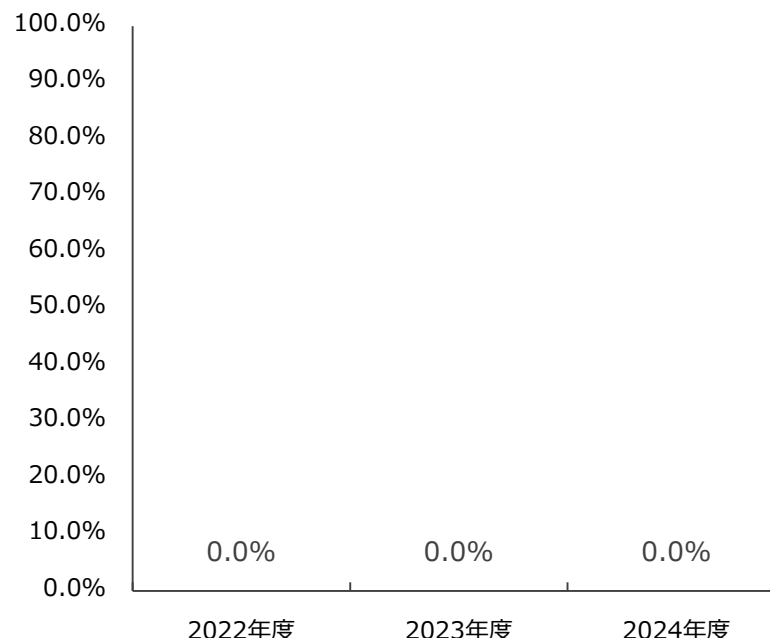
- お客さまとの対話を重ね、ひとりひとりの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、お客様から「毎月分配型ファンド」の選択はなく、「投信つみたて」を20件ご契約いただいております。

＜投信つみたて契約件数の推移＞

(件)



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞

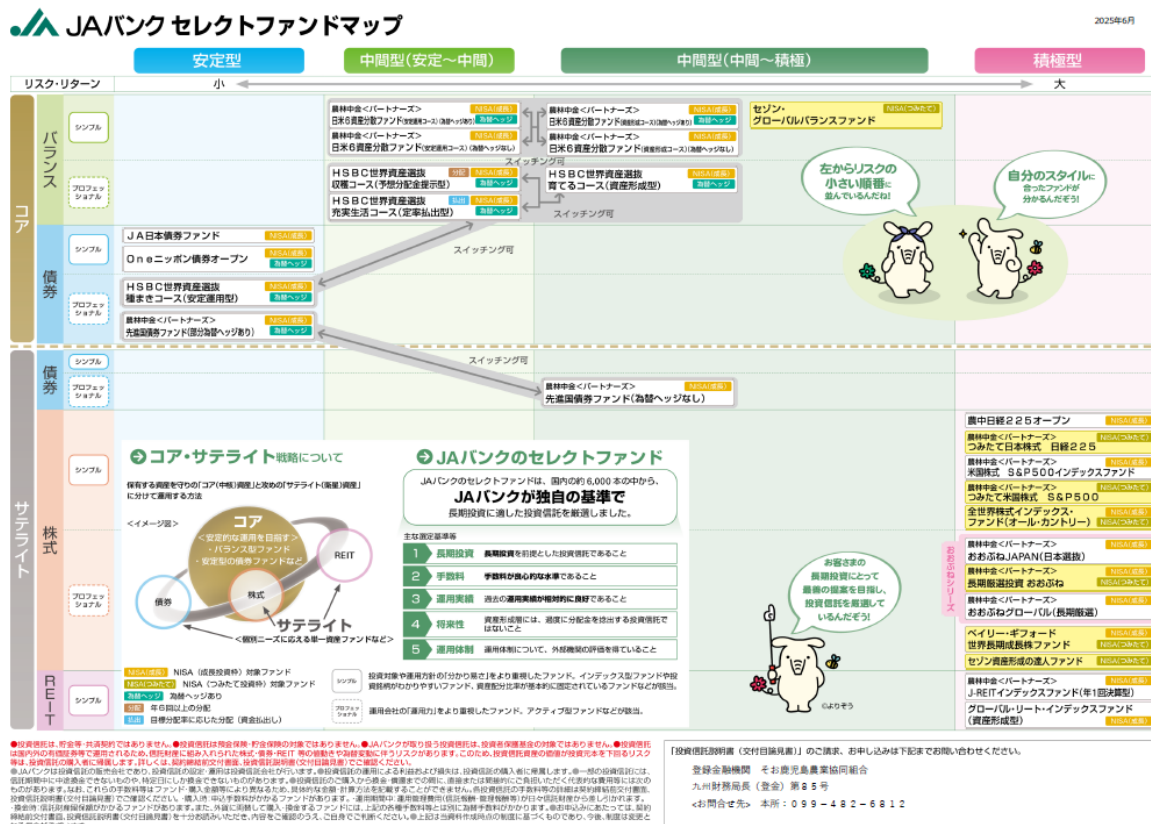


I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供②

(1) 信用の事業活動

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ、J Aバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、投信取扱開始時から、重要情報シートを導入しております。



I.取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供③

【原則2本文および（注）、原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

- ①組合員・地域の皆様に対して、「寄り添い」、「ひと・いえ・くるま・農業」のバランスの取れた総合保障の提案を通じて、安心を届ける活動をします。また、地域貢献活動を通じて、地域住民や次世代層との繋がりを図り、一層の「安心」と「満足」を提供する普及活動に取り組みます。
- ②保障の加入にあたっては、組合員・地域の皆様のご意向を的確に把握・確認したうえで、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、分かりやすい重要事項説明（契約概要・注意喚起情報）を実施します。
- ③特にご高齢の組合員・地域の皆様に対しては、より丁寧に分かりやすく説明し、ご家族も含めて十分ご納得、ご満足いただけるよう、ご契約時にはご家族の同席等を徹底するなど、きめ細かい対応を行います。

なお、保障の加入にあたり、共済掛金のほかに、お客さまにご負担いただく手数料はいただいておりません。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

・組合員・利用者の皆さまの商品選定、保障提案にかかる情報提供にあたり、金融商品の販売・推奨や共済仕組みの提案・契約等において、組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」等を定め、本方針等に基づき適切に管理します。

4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

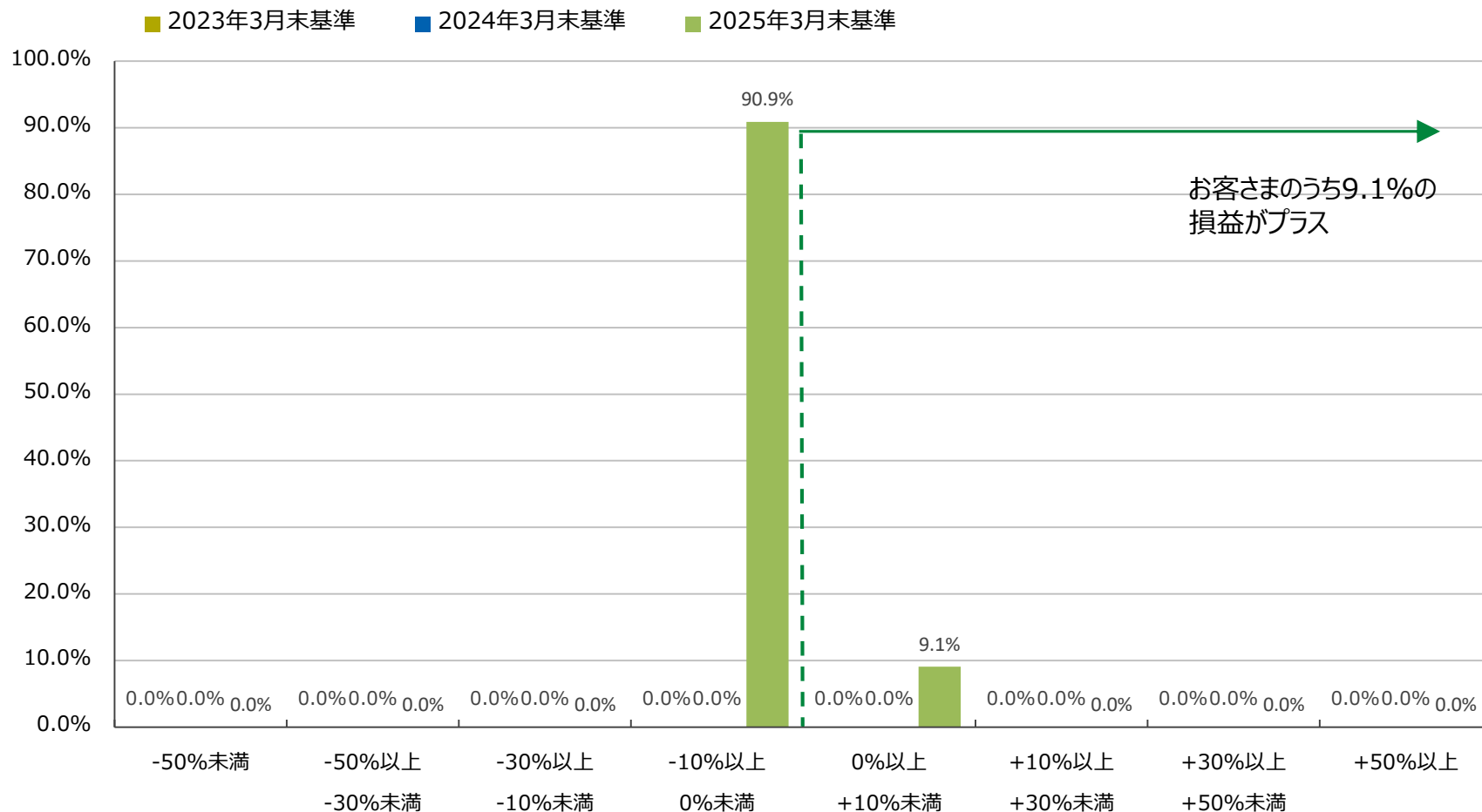
【原則2本文および（注）、原則6（注5）、
原則7本文および（注）】

・職員への継続的・定期的な研修の実施、資格取得支援等により、お客さま本位の業務運営を実施するための態勢を構築しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、2025年3月末時点では全体の9.1%のお客さまの損益がプラスとなりました。引き続き、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案いたします。

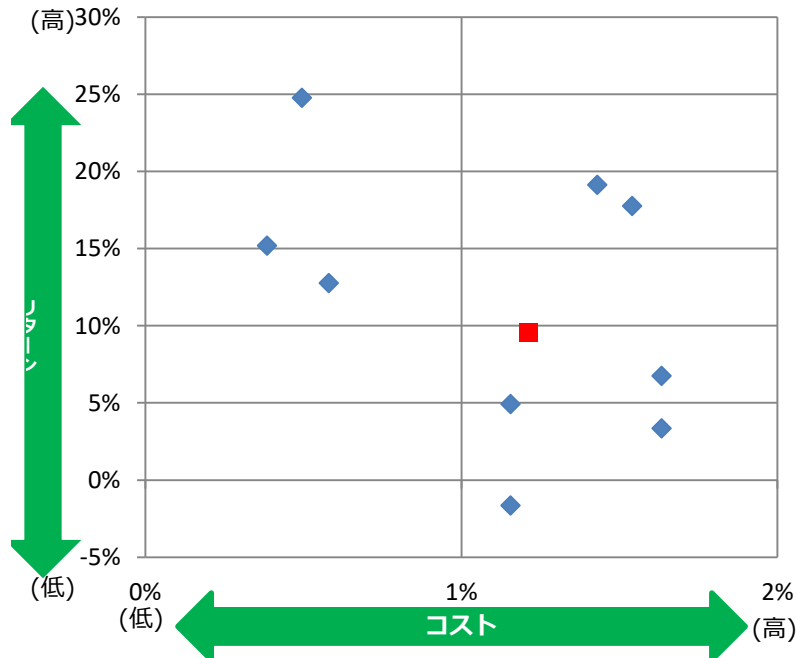


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

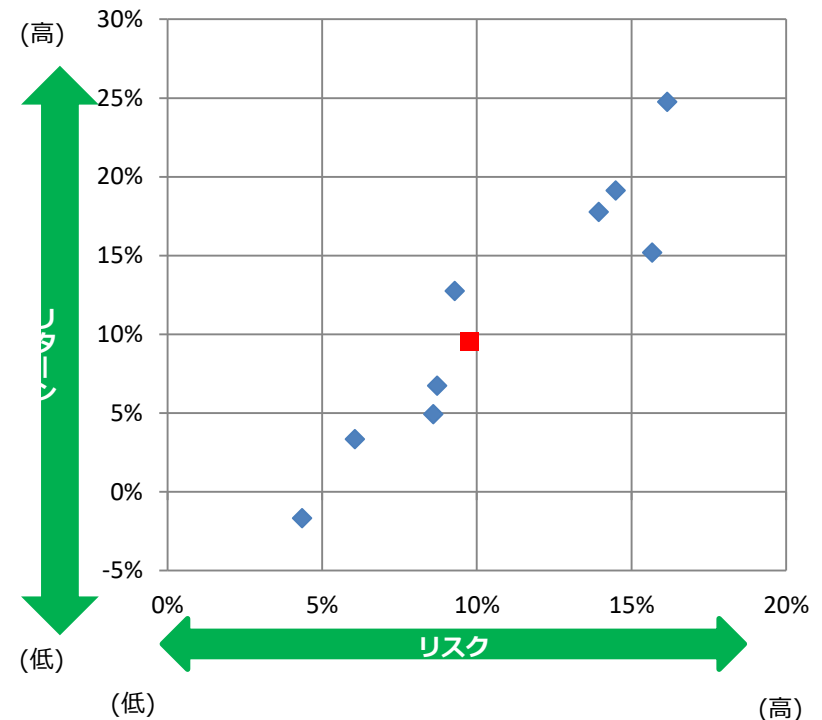
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2025年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.21%、平均リスク9.75%に対して、平均リターンは9.55%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド [※] (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
2	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
3	日米6資産分散ファンド [※] (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.66%	4.34%	1.16%
4	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
5	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
6	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
8	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
9	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		9.55%	9.75%	1.21%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は9本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。